テーマ「地域に根ざした学校　～嶺峯祭を通じて～　」



カテゴリー：④連携（地域・多職種等）

学校概要：福井県立看護専門学校　　所在地：福井県福井市四ツ井 2 丁目 8-1

課程名：3 年過程　　1 学年定員数：40 名　　修業年限：3 年

内容：1952 年（昭和 27 年）創立の歴史ある当校では、例年 11 月上旬に学校祭を開催している。これまでは学校内だけで実施していたが、令和 6 年度は、看護の魅力や学校生活の楽しさを発信し、学生数の確保と「地域に開けた学校」づくりを目的として地域住民に学校祭を開放した。

運営：学校祭の名称を学生より公募し、校歌の一節である「嶺峯の白雪輝やかに」から「嶺峯」の言葉を取り、「嶺峯祭」とした。学生が主体的に動けるように 2 年生を中心とした「学校祭運営員会」を立ち上げ、他学年にも学年を超えた協働ができるように連絡役を立てた。来場者数を確保するための工夫として、学生がポスターを作成し、X や Instagram に投稿、地域のスーパーや保育園にも掲示してもらい宣伝した。

開催：令和 6 年 11 月 2 日（土）に開催



ウェルフェアブース：血圧測定、車いす体験、ハンドマッサージなどの看護技術

「ナース服を着てみよう」：100cm～150cm のナース服を実際に着られるようにし、保護者が写真を撮るフォトスポットを作成



1 年生：縁日コーナー、3 年生：脱出ゲーム

⇒来場者が「学校祭」に来たと実感できるよう、楽しめる工夫



模擬店：調理は 2 年生、運営は 1 年生と 2 年生で行い、協働した

お茶会：茶道部が企画し、在宅実習室を用いてお点前を披露

キッチンカー：地域住民が学校に興味を持つきっかけ作りとして召致







評価：当日は雨天にも関わらず、在校生の家族・友人だけでなく、SNS を見た高校生やポスターを見た地域住民の方も来場し、118 名の参加があった。来場者の中には今年度入学してきた学生もおり、オープンキャンパスや学校説明会ではみえない在校生の活発な姿をみることで、学校を肌で感じてもらう機会となったと考える。ウェルフェアブースを準備する際には、学生は技術練習を十分に行い、結果として学生の技術水準を向上させる機会となった。また、企画、準備、運営を 2 年生が中心となり 3 学年を通じて行うことで異学年交流の機会となり、主体的な運営ができた。終了後の在校生を対象としたアンケート（回収率 82%）では、「準備において協力しながら行うことができた」85%、「学年を超えて交流ができた」88%と、協働・協力しながら異学年交流の機会となり、自由意見では「大変だったけど思い出になった」という記載がみられた。しかし、地域への公開とした初年度ということもあり、学生間での業務量に差が生じたことなどの課題もみられた。

結び：地域に根ざした学校づくりとして学校祭を学生主体で企画、準備、運営を行い、これまで閉鎖的であった看護学校を広く知ってもらう機会となった。自分たちが楽しい学校祭から、自分も来場者も楽しめる学校祭にすることができた。高校生を対象としたオープンキャンパスに加えて、幼児や小中学生、地域住民の方々へ看護の魅力を発信できるように学校祭を継続し、地域と共にある学校を目指していきたい。